

調査参加実習外での研究参加者へのクレジット付与について

心理学科卒業論文、心理学専攻および臨床心理学専攻の修士論文、博士論文に関わる研究では、「心理学実験実習」「心理学調査実習」の履修者が研究参加者となった場合、研究参加クレジット（最大5点）を付与することができます。

調査参加実習日以外に実施する研究についても、以下の条件・手順に沿ってクレジットを付与することが可能です。

【条件等】

- 心理学科卒業論文、心理学専攻および臨床心理学専攻の修士論文、博士論文に関わる研究に限ります。
- 謝礼の発生する研究において、謝礼とクレジットの2重提供を認めません（クレジットあるいは謝礼どちらかのみを渡して下さい）。
- 最低でも30分の実施時間を要する研究に参加することで、1スロット分とカウントされます（1スロット=30分）。
- 1つの研究で30分以上要する場合、複数のスロットをカウントし（例えば1時間の参加=2スロット）、1学期あたり最大5スロットまで参加可能とします（最大5点）。

【付与の手順】

- ① 研究に参加してもらった後、研究実施者が研究参加者へ「参加証明 ID」を交付する。

※参加証明 ID：参加者ごとに匿名化ラベルを作成してください

例)「s1 から s20 まで研究に参加した順番に応じて付与」

「220427-1 のように実施日-人数に応じて付与」

- ② 「【実施者向け】クレジット研究実施フォーム」から、研究の基本情報・参加証明 IDを入力してください。

<https://forms.gle/4VDP6WQVivR6Yajg8>



※その後、「心理学実験実習」「心理学調査実習」を受講している研究参加者が、別途「研究参加クレジット申請フォーム」から「参加証明 ID」を入力することで、クレジット付与が認められます。

